| 令和６年度　基本評価調書 | 所管部局 | 教育庁 | 所管課 | 健康・体育課 |
|---|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策名 | 体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実 | 施策コード | 1102 |
| 政策の柱 | 教育・学び | 政策体系コード | 2(2)A |
| 関連重点戦略計画等 | 北海道創生総合戦略、知事の基本政策、ゼロカーボン北海道推進計画 | 事務事業数 | 30 |
| 特定分野別計画 | 北海道教育推進計画、北海道総合教育大綱 | | |
| SDGs | | 総合判定 | やや遅れている |

| 予算額（千円） | R6 | 601,848千円 | R5 | 1,796,439千円 | R4 | 481,519千円 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| **施策目標** | ・生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができる力の育成に向け、学校・家庭・地域・行政が連携し、望ましい生活習慣や運動習慣、食習慣の定着に向けた取組を推進するとともに、教員の指導力の向上に向けた取組の充実を図る。 |
| **現状と課題** | （体力・運動能力の向上）<br>・本道では、8つの種目の測定値の合計を示す体力合計点が前年度より上昇したり、体育の授業において「わかった」「できた」と実感することが「いつもある」と回答した児童生徒の割合が小・中学校の男女ともに前年度より増加しているものの、いずれも全国平均に届いていない状況にあることから、運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成を図る体育・保健体育科の授業改善を一層推進し、運動習慣の定着につなげる。<br>（健康教育・食育の充実）<br>・本道は、全国と比較して「朝食を毎日食べている」割合が低いことや、不登校児童生徒の増加など、望ましい生活習慣の定着やメンタルヘルスの問題への対応が課題となっており、学校において、健康課題の解決に向けた取組に加え、学校医等の専門家や家庭、地域と連携・協働して取り組む体制を整備することが重要である。 |

**〈主な取組〉**

| | |
|---|---|
| 今年度の取組 | （体力・運動能力の向上）<br>・小学校体育専科教員等配置校及び中学校授業実践スペシャリスト配置校における体力向上に向けた包括的な取組の推進とその成果の普及啓発、課題校への訪問指導<br>・中学校保健体育科教員の教科等指導力向上に向けた研修等の実施とその成果の普及啓発<br>・どさん子元気アップチャレンジの実施など、学校、家庭、地域、行政が連携・協働した運動習慣の定着に向けた取組の推進<br>（健康教育・食育の充実）<br>・道内の各地域の健康教育を牽引するリーダーによる子どもたちの健康課題の解決に向けた実践研究の推進とその成果の普及啓発、経験の浅い養護教諭の学校への訪問指導<br>・学校保健組織活動の活性化に向けた指導助言の実施<br>・道保健福祉部と連携し、フッ化物洗口未実施市町村及び一時的に中断している市町村の状況把握と、実施や再開に向けた説明会、指導助言の実施<br>・食育の推進に資する栄養教諭を中核とした食育推進体制の整備<br>・学校給食への地場産物の積極的な活用促進等 |
| 実績と成果 | （体力・運動能力の向上）<br>・中学校推進教員（スペシャリスト）及び学識経験者を講師とする授業実践・改善セミナーを全道14管内で実施（延べ276名）するとともに、小学校体育専科教員・エキスパート教員及び中学校推進教員（スペシャリスト）の実践概要をまとめ、その成果を普及啓発するなど、授業改善の取組を推進した。<br>・累計23，900名、356校が参加したR5「どさん子元気アップチャレンジ」の実施など、学校、家庭、地域、行政が連携・協働した運動習慣の定着に向けた取組を推進した。<br>（健康教育・食育の充実）<br>・健康教育推進リーダー（R5：6名、R6：4名）による道内の児童生徒の健康課題の解決に向けた実践研究を行い、実践概要をまとめ周知するとともに、養護教諭等を対象とした研修（R4：294名→R5：798名）でより多くの関係者に成果を普及することができた。また、経験の浅い養護教諭の学校（22校）に健康教育推進リーダー等（10名）を派遣し、保健室経営等に対する指導助言を実施予定。<br>・学校保健委員会の活性化に向け、PDCAサイクルシートを活用して、校長会議や学校訪問時に指導助言を行ったほか、養護教諭を対象とした研修（137名）において校内外の連携事例を示したことなどにより、学校保健委員会に学校外の委員が出席した学校が増加した（R3：45.0%→R4：79.3%）。<br>・道保健福祉部と連携し、フッ化物洗口未実施市町村（13市町）を訪問し実施に向けた指導助言を行ったほか、フッ化物洗口の効果や具体的な実施方法リーフレットや動画を作成・周知することなどにより、未実施又は一時中断している市町村へのフッ化物洗口推進に向けた支援につながった。<br>・市販薬の乱用（オーバードーズ）事案や不登校児童生徒の増加などを踏まえ、専門家の協力を得てメンタルヘルスの問題に関するオンラインセミナー（R5：2回、186名、R6：3回実施予定）を実施し、事前に要望のあったテーマの講義や学校からの質疑応答の時間を設けたことにより、対応に苦慮している学校への支援につながった。<br>・健康教育推進研究協議会を開催（北見市、岩見沢市、苫小牧市で開催、計563名）し、協議・演習「食を中心とした望ましい生活習慣の定着プラン作成」は、校内での課題の洗い出しを学校長のリーダーシップのもと全教職員が連携して学校全体で進めることの大切さの理解が深まり、学校での取組が円滑となった。<br>・学校における食育推進体制の整備に向けた実施調査を実施し、調査結果から、管理職及び栄養教諭等へのそれぞれの指導内容をまとめ、改善のポイント等を周知して、各学校での改善への取組に役立った。<br>・初任段階栄養教諭等研修において、食に関する指導の推進と評価と改善や学校給食の栄養管理及び献立作成について講義・演習を実施（74名）し、9割を超える受講者が「役立った」と回答し、現場での実践に役立った。<br>・北海道学校給食研究大会（R5.7月、198名）、北海道学校給食研究協議会栄養部会研修及び調理場部会研修において、道教委説明や講義・演習を実施。第4分科会においては、地場産物の活用等について活発な協議が行われた。参加者に調理従事者が多かったことから、地場産物の調理方法など多岐に渡って協議が深まった。また、北海道の学校給食研究大会の記録誌を全管内に送付し内容を周知したことにより、参加していない者も含め研究成果を多くの関係者が共有できた。<br>・北海道学校給食コンクール（R6.1月）を実施し、コンクールの内容と審査結果をHP、クックパッド、議会食堂などで学校関係者以外にも地場産物を活用した学校給食を広く周知したことにより、家庭の食事に地場産物の活用や給食の献立を取り入れてもらうきっかけとなった。 |

| | | |
|---|---|---|
| 参考HP① | 体育専科教員等実践概要報告集 | https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/R5jissengaiyou.html |
| 参考HP② | どさんこ元気アップチャレンジ | https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/R5dosanko.html |
| 参考HP③ | 健康教育の実践事例 | https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/182455.html |

| 令和6年度 基本評価調書 | 【2(2)A_1102】体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実 |
|---|---|

〈指標分析〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

| 指標名① | 増加 | T得点 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 最終目標(R15) | 達成率 | 指標判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体力・運動能力の全国比(小学校第5学年) | | 目標値 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 99.0% | B |
| | | 実績値 | 男子49.2<br>女子48.8 | 男子49.4<br>女子49.2 | 男子49.6<br>女子49.4 | | | |
| 設定理由 | 小学校における体力・運動能力の向上に向けた取組状況を測る指標であり、運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成の成果を測る指標として設定<br>【補足】全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点の平均値が50としたときの割合 | | | | | | | |
| 指標公表時期 | 毎年調査、12月公表 | 出典(根拠計画等) | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 日常における運動習慣の確立に向け、どさん子元気アップチャレンジを実施するとともに、小学校体育専科教員・エキスパート教員活用事業の成果の普及により、各学校における授業改善や授業以外の体力向上の取組が充実したことで、前年度より目標値に近づいたものと考える。また、体育を専門としない教員の授業力等の向上を図るため、今後も取組を継続することが重要である。 | | | | | | | | |

| 指標名② | 増加 | T得点 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | 最終目標(R15) | 達成率 | 指標判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体力・運動能力の全国比(中学校第2学年) | | 目標値 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 95.2% | B |
| | | 実績値 | 男子48.2<br>女子46.7 | 男子48.1<br>女子46.6 | 男子48.2<br>女子47.0 | | | |
| 設定理由 | 中学校における体力・運動能力の向上に向けた取組状況を測る指標であり、運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成の成果を測る指標として設定<br>【補足】全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点の平均値が50としたときの割合 | | | | | | | |
| 指標公表時期 | 毎年調査、12月公表 | 出典(根拠計画等) | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 日常における運動習慣の確立に向け、どさん子元気アップチャレンジを実施するとともに、令和4年度からは道内4ブロックで、令和5年度からは全ての管内で保健体育授業や体力向上の取組に優れた教員を推進教員(スペシャリスト)として位置付け、推進教員や学識経験者を講師とする授業実践・改善セミナーを行ったことで、前年度より目標値に近づいたものと考える。小学校と比較すると全国との差が大きいことから、今後も取組を継続することが重要である。 | | | | | | | | |

| 指標名③ | 増加 | % | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 最終目標(R15) | 達成率 | 指標判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「朝食を毎日食べている」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合 | | 目標値 | − | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 78.2% | D |
| | | 実績値 | 小6 81.5<br>中3 77.4 | 小6 80.7<br>中3 75.4 | 小6 80.3<br>中3 76.0 | | | |
| 設定理由 | 健康教育・食育の充実における取組状況を測る指標であり、生活習慣の定着の成果を測る指標として設定 | | | | | | | |
| 指標公表時期 | 毎年調査、7月公表 | 出典(根拠計画等) | 全国学力・学習状況調査 | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 望ましい生活習慣の定着等をテーマにした研修への参加者数は増加しているが、全国の割合と同様、北海道においても小中ともに朝食を毎日食べている割合が減少しており、より一層の取組の充実を図る必要がある。 | | | | | | | | |

| 指標名④ | | | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 最終目標(R15) | 達成率 | 指標判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 目標値 | | | | | − | − |
| | | 実績値 | | | | | | |
| 設定理由 | | | | | | | | |
| 指標公表時期 | | 出典(根拠計画等) | | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 指標名⑤ | | | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 最終目標(R15) | 達成率 | 指標判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 目標値 | | | | | − | − |
| | | 実績値 | | | | | | |
| 設定理由 | | | | | | | | |
| 指標公表時期 | | 出典(根拠計画等) | | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 令和6年度 基本評価調書 | 【2(2)A_1102】体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実 |
|---|---|

**〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉**

| | |
|---|---|
| 連携状況 | (課題)<br>・体力・運動能力の向上に関して、本道の実態を踏まえた明確なエビデンスに基づき改善方策を具体的に考える必要がある。<br>・フッ化物洗口未実施市町村及び一時的に中断している市町村に対し、実施や再開に向けてのポイント等を周知する必要がある。<br>・「朝食を毎日食べる」ことについては、普及啓発活動等を所管課だけでなく他部署とも連携しながら進めていく必要がある。<br><br>(取組と成果)<br>・本道児童生徒の体力・運動能力の向上の取組について北海道教育大学と連携し、調査結果の分析方法等について学識経験者から助言を受けるとともに、研修会での講義、学校訪問による指導助言の機会を設定したことにより、本道や各学校の課題を踏まえた改善方策を全道や各学校等に具体的に示すことができた。<br>・フッ化物洗口未実施市町村(13市町)を訪問し実施に向けた指導助言を行ったほか、フッ化物洗口の効果や具体的な実施方法リーフレットや動画を作成・周知することなどにより、未実施又は一時中断している市町村へのフッ化物洗口推進に向けた支援につながった。<br>・「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間における周知(7月～8月及び12月～1月、庁舎内放送)(社会教育課)<br>・望ましい生活習慣の定着や家庭教育の推進に関するパネル展を開催(7月13～14日、道庁1階、参加者67名)(社会教育課) |
| 緊急性<br>優先性 | (課題)<br>・新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に児童生徒の体力・運動能力が低下しており、体力向上に係る取組の改善・充実が喫緊の課題となっている。<br>・市販薬の乱用(オーバードーズ)事案や不登校児童生徒が増加しており、メンタルヘルスの問題に係る取組の充実が喫緊の課題となっている。<br><br>(取組と成果)<br>・R5年度から課題が見られる小学校に対し、体育専科教員・エキスパート教員による訪問指導(R5は、110校、各2回)を行うとともに、全ての管内で中学校授業改善・実践セミナーを(各管内年1回)を開催することにより、学校の取組の充実につながった。<br>・専門家の協力を得てメンタルヘルスに関するオンラインセミナー(R5：2回、186名、R6：3回実施予定)を実施し、事前に要望のあったテーマの講義や学校からの質疑応答の時間を設けたことにより、対応に苦慮している学校への支援につながった。 |

**〈その他統計数値等〉**

| その他統計数値等① | 過年度① | 過年度② | 最新年度 |
|---|---|---|---|
| 体育授業以外で週に総運動時間が60分以上と回答した小学5年生、中学2年生の値 | 小男91.0%<br>小女86.4%<br>中男89.0%<br>中女78.6%<br>(R3) | 小男91.5%<br>小女87.1%<br>中男89.1%<br>中女78.3%<br>(R4) | 小男91.2%<br>小女84.9%<br>中男84.8%<br>中女70.1%<br>(R5) |

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
本道の児童生徒の体力・運動能力について、全国平均より低い一因として、1週間の総運動時間が短いことが課題となっており、学校や地域の実態を踏まえ、学校、家庭、地域、関係機関が一体となった子どもたちの運動機会を充実させる必要がある。

| (状況) | |
|---|---|
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、数値が減少しているが、R5年5月8日に5類に移行したことから、今後、運動習慣の確立に向けた取組を一層充実する必要がある。 | c |

| その他統計数値等② | 過年度① | 過年度② | 最新年度 |
|---|---|---|---|
| むし歯のある者の割合 | 小48.7%<br>中38.6%<br>高52.9%<br>(R2) | 小47.4%<br>中43.6%<br>高52.1%<br>(R3) | 小42.4%<br>中36.5%<br>高49.2%<br>(R4) |

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
過去2年間と比較すると、全ての校種で減少しているが、全国平均(小37.0%、中28.2%、高38.3%)と比較すると高い水準になっている。

| (状況) | |
|---|---|
| 学校種別ごとにむし歯のある者の割合をみると、小学校は42.4%、中学校は36.5%、高校は49.2%となっており、全ての校種でR3年度よりも減少している。引き続き、フッ化物洗口の推進等の取組を行っていく。 | a |

| その他統計数値等③ | 過年度① | 過年度② | 最新年度 |
|---|---|---|---|
| | | | |

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

| (状況) | |
|---|---|
| | |

| 令和6年度 基本評価調書 | 【2(2)A_1102】体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実 |
|---|---|

〈総合判定〉

| 指標判定 | C※ | 連携状況 | ○ | 総合判定 | やや遅れている |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 緊急性・優先性 | ○ | | |
| | | その他統計数値等 | b | | |

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
（「朝食を毎日食べている」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合）

| | 対応方針番号 | 内容 |
|---|---|---|
| 翌年度に向けた対応方針 | ① | 生涯にわたって運動に親しむための資質・能力の育成に向けた授業改善の取組を進め、運動習慣の確立を図る必要があることから、取組の成果が上がっているこれまでの体力向上推進事業を発展的に継続し、運動が苦手な児童生徒が体育授業の中で成功体験を積み重ね、自発的な運動習慣につなげることができるよう授業改善や体力向上の取組の一層の改善・充実を図る。 |
| | ② | 「朝食を毎日食べること」については、関係機関、団体、サポート企業等との連携や、学校からの働きかけにより、保護者に対する食育や生活習慣の定着に向けた取組の強化を図る。 |
| | ③ | |

〈二次政策評価〉

| 二次政策評価 | |
|---|---|

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

| 二次政策評価への対応 | | |
|---|---|---|
| 翌年度施策の方向性 | 対応方針番号 | 方向性 |
| | ① | 小学校における課題校への訪問指導を計画的に進める（3年次計画の3年目）とともに、中学校の研修を継続して実施する。また、若手教員を対象とした指導力向上のための研修や学校が組織的な体力向上の取組を進めるための研修などを、オンラインにより新たに実施する。 |
| | ② | 「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間（7月～8月及び12月～1月）においてパネル展などの広報活動を実施する。<br>初任段階養護教諭等研修及び中堅養護教諭等資質向上研修において、生活習慣の課題やその解決に向けた取組に関する講義・演習を実施する。<br>初任段階栄養教諭等研修において、食に関する指導の推進と評価と改善について講義・演習を実施する。 |
| | ③ | |

| 令和６年度　事務事業評価調書 | 施策名 | 体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実 | 施策コード | 1102 |
|---|---|---|---|---|

| 整理番号 | 重複施策 | 経費区分 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局室名 | 前年度からの繰越事業費(千円) | 事業費(千円) | うち一般財源 | 執行体制 本庁 | 出先機関 | 人工計 | フルコスト(千円) | 一次政策評価 対応方針番号 | 方向性 | 二次政策評価意見 | ACTION 結果への対応(令和6年度) 次年度方向性 | 二次評価意見への対応状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1101 | | 義務費 | 北海道学校保健審議会 | 学校保健及び学校給食に関する施策の向上を図るため本審議会を開催 | 健康・体育課 | | 282 | 282 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 3,486 | | | | | |
| 1102 | | 義務費 | 学校病医療対策費 | 道立特別支援学校要保護及び準要保護児童生徒の学校病に対する医療費を扶助 | 健康・体育課 | | 72 | 66 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 1,674 | | | | | |
| 1103 | | 義務費 | 健康診断費 | 道立学校児童生徒の健康診断(結核健診、尿検査、心臓検診)に係る手数料等 | 健康・体育課 | | 121,603 | 121,603 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 124,006 | | | | | |
| 1104 | | 義務費 | 学校給食費援助費 | 登別明日中等教育学校の前期課程の生徒に対して学校給食法に基づく学校給食の実施にあたり、要保護及び準要保護の状態と認められる生徒の保護者に対し、学校給食費の援助を行う | 健康・体育課 | | 1,426 | 1,426 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 3,028 | | | | | |
| 1503 | | 義務費 | 検便費 | 道立学校職員で給食業務に従事する者(調理員を含む)の検便の実施 | 福利課 | | 3,235 | 3,235 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 7,240 | | | | | |
| 1113 | | 事務 | 学校保健関係事務 | 感染症関係指導通知発出や感染症の発生、臨時休業出席停止等関係調査取りまとめ | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.2 | 1.7 | 1.9 | 15,219 | | | | | |
| 1114 | | 一般 | 学校スポーツ振興事業費 | 中・高校生の体育・スポーツ活動の普及促進を図るため、全国大会派遣費を補助する | 健康・体育課 | | 54,213 | 54,213 | 0.3 | 0.1 | 0.4 | 57,417 | | | | | |
| 1115 | | 一般 | 学校スポーツ振興事業費(補助金) | 中・高校生の体育・スポーツ活動の普及促進を図るため、全道大会開催費を補助する | 健康・体育課 | | 1,152 | 1,152 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 1,953 | | | | | |
| 1116 | | 事務 | へき地児童生徒援助費等補助金事務 | へき地学校が行う健康診断等のための医師派遣費用及び心臓検診事業に要する経費に対し、国が補助金を支払う事務 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.1 | 0.9 | 1.0 | 8,010 | | | | | |
| 1117 | | 一般 | 学校体育・運動部活動推進事業費 | 武道等の指導の充実を図るため、外部指導者を派遣するほか、体育・保健体育において課題が見られる領域の指導を担う教員の資質向上を図る。 | 健康・体育課 | | 5,376 | 0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 6,177 | | | | | |
| 1118 | | 一般 | 学校環境衛生推進費 | 学校におけるシックハウス症候群対策のため、教室等の空気中化学物質濃度の検査を行う | 健康・体育課 | | 177 | 177 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 1,779 | | | | | |
| 1119 | | 事務 | 学校体育指導に関する事務 | ①学校体育に係る指導通知・通達の作成、資料の整備に関すること<br>②学校体育に係る研究指定校への指導助言に関すること　など | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 2.9 | 1.0 | 3.9 | 31,239 | | | | | |
| 1120 | | 維持費 | 自動体外式除細動器(AED)整備事業費 | 道立学校にAEDを整備し、心臓突然死等の防止を図る | 健康・体育課 | | 14,722 | 14,722 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 16,324 | | | | | |
| 1121 | | 事務 | 学校保健指導に関する事務 | ①学校保健に係る指導通知・通達の作成、資料の整備に関すること<br>②学校保健に係る研究指定校への指導助言に関することなど | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 8,010 | | | | | |
| 1123 | | 事務 | 学校給食施設事務 | 学校給食施設における国庫補助事務 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.4 | 0.3 | 0.7 | 5,607 | | | | | |
| 1124 | | 一般 | 学校保健関連事業費 | ・学校保健費(学校保健課題解決支援事業)専門医等を学校に派遣し、健康相談活動の体制整備を図る<br>・学校保健費(スクールヘルスリーダー派遣事業)退職養護教諭を養護教諭の未配置校等へ派遣する<br>・学校保健費(フッ化物洗口普及事業)児童生徒に係る歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、フッ化物洗口の普及を促進する<br>・学校保健費(がんの教育支援事業)がん教育の充実を図り、がん予防や早期発見につながるよう生活習慣を見直し改善することを目的とする | 健康・体育課 | | 6,338 | 3,438 | 1.3 | 0.2 | 1.5 | 18,353 | | | | | |
| 1125 | | 事務 | 学校給食物資事務 | 学校給食物資に係る事務 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.3 | 0.2 | 0.5 | 4,005 | | | | | |
| 1126 | | 事務 | 学校給食関係研修事務 | 学校給食に係る全国規模の研修や栄養教諭・調理員研修等に係る事務 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.7 | 0.2 | 0.9 | 7,209 | ② | 改善(指標分析) | | 改善 | |
| 1127 | | 一般 | 健康診断関連経費 | 道立学校児童生徒の健康診断に係る協力医師、帯同看護師の謝金及び健康診断使用器具等購入・リースの経費 | 健康・体育課 | | 12,339 | 12,339 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 13,140 | | | | | |

| 整理番号 | 重複施策 | 経費区分 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局室名 | 前年度からの繰越事業費(千円) | 事業費(千円) | うち一般財源 | 執行体制 本庁 | 出先機関 | 人工計 | フルコスト(千円) | 一次政策評価 対応方針番号 | 方向性 | 二次政策評価意見 | ACTION 結果への対応(令和6年度) 次年度方向性 | 二次評価意見への対応状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1128 | | 事務 | 学校給食調査事務 | 学校給食関係諸調査に関する事務 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 1.1 | 0.3 | 1.4 | 11,214 | | | | | |
| 1129 | | 一般 | 夜間定時制高等学校夜食費 | 生徒の健康の保持・増進を図るため、道立夜間定時制高等学校において夜食給食を実施する。 | 健康・体育課 | | 15,974 | 15,974 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | 19,979 | | | | | |
| 1130 | | 一般 | 学校給食衛生管理事業費 | 食中毒の防止など、学校給食における食材の衛生管理を図るため定期検査を実施する。 | 健康・体育課 | | 15,436 | 15,436 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | 19,441 | | | | | |
| 1131 | | 一般 | 北海道学校保健研究大会 | ・平成29年度に開催される全国学校保健・安全研究大会開催に係る補助金等 | 健康・体育課 | | 450 | 450 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 2,853 | | | | | |
| 1132 | | 事務 | 体力運動能力調査 | 今後の体育行政及び学校体育に関する指導の資料とするため、児童生徒の体力や運動能力について3年毎に調査を実施する。 | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 1.2 | 0.5 | 1.7 | 13,617 | | | | | |
| 0601 | | 一般 | 学校部活動の総合的な支援体制構築事業費 | 教職員における学校部活動の負担軽減等を支援する | 部活動改革推進課 | | 54,250 | 35,891 | 3.0 | 2.8 | 5.8 | 100,708 | | | | | |
| 1135 | | 一般 | 体力向上推進事業費 | 体育専門教員の配置や訪問指導等による教員の資質向上や児童生徒の運動習慣の定着に向けた取組を推進する | 健康・体育課 | | 4,114 | 4,114 | 0.6 | 0.2 | 0.8 | 10,522 | ① | 改善(指標分析) | | 改善 | |
| 1136 | | 事務 | 高校生心身強化セミナー事業費 | 高校生に対し、自宅等で取組可能な「心身の強化」に関するセミナーを開催する | 健康・体育課 | | 0 | 0 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 2,403 | | | | | |
| 0602 | | 一般 | 部活動の地域移行支援事業費 | 休日の部活動の地域移行に向け、地域のスポーツ・文化団体等の整備、指導者確保等の体制整備に向けた取組の実証 | 部活動改革推進課 | | 284,396 | 13,916 | 4.0 | 2.3 | 6.3 | 334,859 | | | | | |
| 1139 | | 一般 | 健康教育推進体制サポート事業費 | 養護教諭の資質向上を図るため、中核養護教諭を経験の浅い養護教諭配置校に派遣する | 健康・体育課 | | 1,293 | 989 | 0.2 | 0.9 | 1.1 | 10,104 | | | | | |
| 1140 | | 一般 | 学校体育振興費(持ち回り大会補助金) | 持ち回りで開催している大会に係る補助金等経費 | 健康・体育課 | | 5,000 | 2,500 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 6,602 | | | | | |
| 計 | | | | | | 0 | 601,848 | 301,923 | 20.7 | 12.3 | 33.0 | | | | | | |